

令和3年度 園だより

こうきた 10月号

杉並区立高円寺北子供園



毎日がオリンピック！！

園長 須田 なぎさ

体を動かすのに心地よい季節となり、体育館や中庭、校庭で走ったり、踊ったり体を動かす子どもたちの姿が増えてきました。スポーツの秋ですね。

たんぽぽ組は、保育室の前のテラスに、いろいろな遊具や道具を並べて、遊園地をしています。遊園地には、ケンパ跳び、両足跳び、一本橋渡り、蜘蛛の巣くぐりなどがあり、動物になりきったり、ストーリーを考えたりしながら、体を動かすことを楽しんでいます。私も「やりたい」と言うと、たんぽぽ組の子どもたちは、得意げにやり方の見本を示してくれました。その姿から、遊園地をどれだけ楽しんでいるのかが、伝わってきます。楽しみながら、繰り返すことで、子どもたちは、一緒に動いている友達の姿に刺激を受けたり、保育者とみんなと一緒に動く楽しさに気付いたりしながら、多様な動きに出合っています。

にじ組は、東京オリンピックが行われたのを受けて、「にじ組オリンピック」と称して、いろいろな運動遊びを楽しんでいます。かけっこ、リレー、体操、入場行進などを行っています。

自分で選ぶ遊びでは、中庭でフラフープ回しに挑戦している姿があります。はじめのうちは、すぐに腰から落ちてしまい、回せない子も多かったのです。しかし、あきらめず繰り返し挑戦することで、コツをつかみ、できるようになると、また嬉しくて何度も回しています。一人が回せるようになると、「私は無理」とあきらめるのではなく、「自分もできる」と意欲的に取り組んでいます。

また、体育館ではリレーが盛り上がってきています。2チームに分かれての勝負。1勝ずつした3回目の対戦で、負けたチームの子は、勝負が分かると、大粒の涙を流して「もう1回勝負したい！」と悔しがっていました。保育者は「悔しい」に寄り添い、もう一度リレーをすることにしました。この「悔しい」という感情がわくのは、本気で取り組んでいる証拠です。「悔しい」という気持ちをバネにして、「もっと頑張りたい。」「次こそは！」と、やる気や意欲をかりたてます。5歳児になると、楽しく体を動かすだけでなく、チームとして勝つためには、どうしたらよいかを考える中で、思考力や判断力も育っていきます。



高円寺北子供園の先生たちは、子どもたちの「やりたい。」という気持ちを引き出すために、遊具を設置し環境を整えたり「〇〇オリンピック」などと言葉がけを工夫したりしています。「なんだか楽しそう。」「やってみよう。」と、子どもたちが主体的に運動遊びに取り組めるように、毎日考えて保育しているところが素敵だと思っています。先生たちは、「やってみたらできた！」と感じられるように、繰り返しできる場や時間を保障し、自己有能感もてるように励ましたり、認めたりしています。子どもたちの気持ちに寄り添い、一緒に悩み考えています。

今年の運動会は、10月16日（土）に『こうきたオリンピック』として行う予定です。『こうきたオリンピック』のために練習特訓するのではなく、毎日保育の中で、「オリンピック」として楽しんでいることや頑張っていることを披露します。さらに、先生や友達と一緒に悩んだり考えたりした過程を経て一回り成長したお子さんたちの姿を、当日は見ていただきたいと考えています。応援よろしくお願いたします。

《10月の保育》



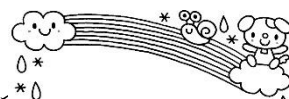
★4歳 たんぽぽ組

2学期が始まって1か月が経ちます。登園し身支度を済ませると、「今日は○○をして遊ぼう!」と、自分のやりたいことを見つけて遊び出す姿が見られます。遊びの中で、友達のしていることに興味をもち、真似してやってみようとしたり、加わって遊ぼうとしたりし、一緒に過ごす嬉しさや楽しさを感じている姿も見られます。

自分の思いを動きや言葉に出そうとする姿が増えてきた一方、友達と思いがぶつかる場面も出てきました。それぞれの思いを丁寧に受け止め、幼児が自分なりに相手に伝えようとする姿を見守ったり、仲立ちをしたりしながら、少しずつ相手にも自分とは違う思いがあることに気付けるようにしていきます。

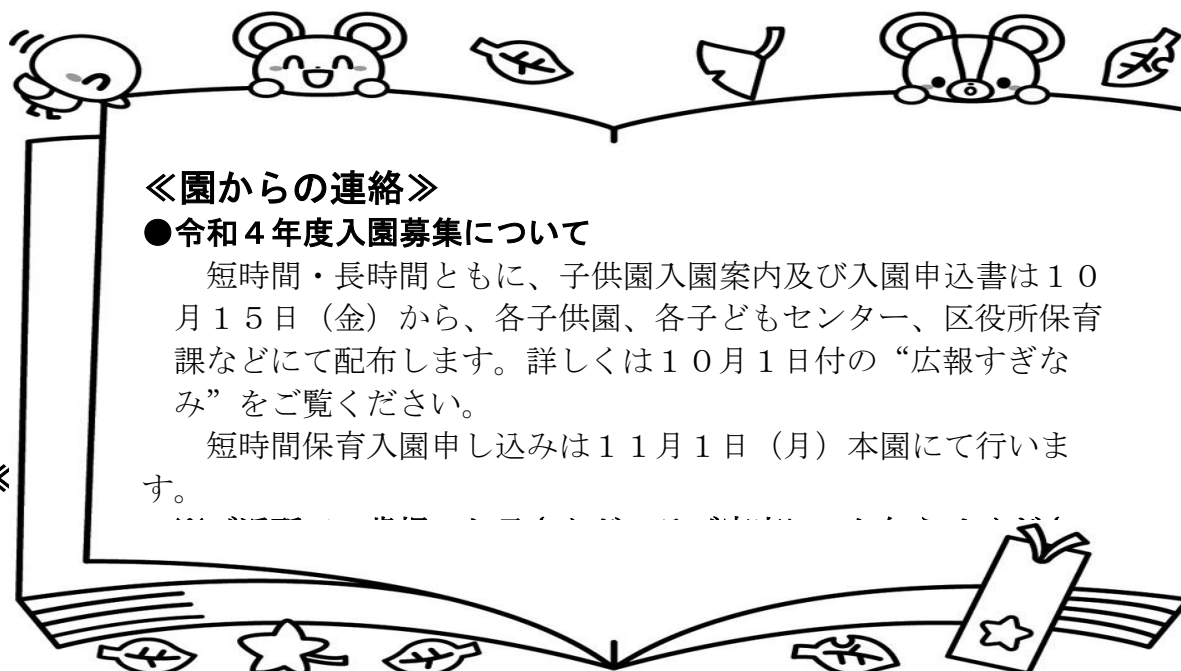
また、走ったり跳んだり体操したり、いろいろな体の動きを繰り返し楽しみながら、伸び伸びと体を動かす心地よさを感じられるようにしていきます。そして、日々子どもたちが楽しんでいる経験を、『こうきたオリンピック』につなげていきます。

★5歳 にじ組



大型積み木での遊びや製作遊び、中庭での運動遊びなど、2学期にながら幅が広がってきている子どもたちです。遊びの場作りをするときに、友達と声を掛け合って一緒に進めていこうとする姿が増えてきました。自分の思いを言葉で伝え、相手の話を聞き、さらに相手の話を受けて自分の考えをもう一度伝える、というようなやり取りができるようにしていきます。

『こうきたオリンピック』に向けての取り組みでは、毎日体を動かして遊ぶだけでなく、係の仕事やたんぽぽ組のお手伝いなどにじ組として必要なことに気付いて“自分たちの運動会”を作っていけるようにしていきます。自分の力を精一杯発揮することはもちろん、運動会までの過程を通して、チームの友達と相談したり力を合わせたりする経験を重ねられるようにしていきます。



《園からの連絡》

●令和4年度入園募集について

短時間・長時間ともに、子供園入園案内及び入園申込書は10月15日(金)から、各子供園、各子どもセンター、区役所保育課などにて配布します。詳しくは10月1日付の“広報すぎなみ”をご覧ください。

短時間保育入園申し込みは11月1日(月)本園にて行います。

●今年度の運動会は、『こうきたオリンピック』です！

5歳児にじ組は、個々に力を発揮したり、友達と気持ちを合わせたりし、4歳児たんぽぽ組は、保育者や友達と一緒に走ったり踊ったりしながら、体を動かして遊ぶことを楽しみます。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、密にならない方法で運動を楽しめるように、今年度は、各家庭1名の保護者の方の参加といたします。様々なご意見があるとは思いますが、安全に子どもたちが運動を楽しめるように、ご理解とご協力をお願いいたします。“保護者の方のパワー”で、子どもたちへ、温かな応援をお願いいたします。詳細は、本日配付しています『こうきたオリンピック』のお知らせをご覧ください。

●令和3年度入園募集について

短時間・長時間ともに、申込書は10月15日（金）から、各子供園、各子どもセンター、区役所保育課にて配布します。詳しくは10月1日付の“広報すぎなみ”をご覧ください。

短時間入園申し込みは11月1日（月）本園にて行います。

※ご近所で3歳児のお子さんがいるご家庭に、お知らせください。

特別支援教育特集（子育てのヒント） “ほめる”の巻

夏休み前のお便りで、子どもは大人が着目した行動が増えるので、困った場面や気になるところより、良いところを認めて増やすことで、気になる行動を減らしていきましょう！とお伝えしました。

今回は、良いところを増やすための具体的なほめ方、認め方についてお知らせしたいと思います。

① 良いところやその行動を続けてほしいところから声をかけていきます。

子どもたちは、おうちの方が見ていてくれるだけで、幸せな気持ちや安心感をもちます。ですから、「すごいね!」「すてき!」「かっこいい!」等の言葉より、「見ているよ。」「見ていたよ。」「〇〇になってきたね。」「昨日より長い時間頑張れたね。」等、具体的に行動を伝えてみてください。我慢できたとき、気持ちを切り替えられたときを見逃さないで具体的に伝えてほめていきましょう。

② アイ（I）メッセージで伝える。

「私は〇〇ちゃんが◇◇していたことを素敵だと思うよ。」「私は妹にやさしく声をかけている〇〇ちゃんが大好き。」と思いを伝えるときには「私は…。」とIメッセージで発信してみてください。このIメッセージはやめてほしい行動を伝えるときにも使えます。「その言い方は、私はいやだな。」「私だったらこんな風にいつてほしいな。」等。

また、一緒にテレビや画像を見ているときに「私は〇〇のキャラクターがおもしろくてかっこいいと思う。」「つねおくんは意地悪だね。」「しずかちゃんはやさしいね。」等お家の方の感性や感覚を伝えてみてください。お家の方が感じていることに会うことで様々な感情に気づくきっかけになります。そのことが、思いを言葉で伝える